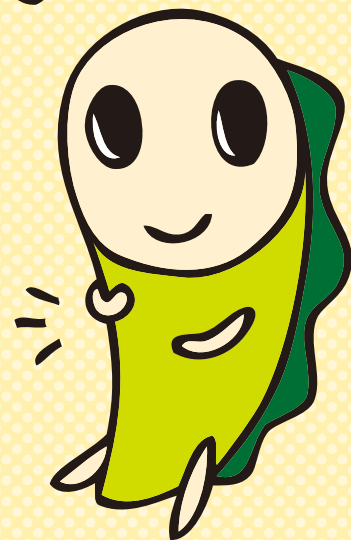


杉並の
支援活動
まるわかり!

学校支援本部って
なんだろう
BOOK



平成27年12月
杉並区教育委員会

学校支援本部って なんだろうBOOK

目次

学校支援本部ってなんだろう？	1
もっと知りたい学校支援本部のこと	2
活動の事例を紹介します	5
学校支援本部活動事例(小学校)	6
学校支援本部活動事例(中学校)	24
活動についてのアンケート公開!!	32
学校支援本部一覧	34

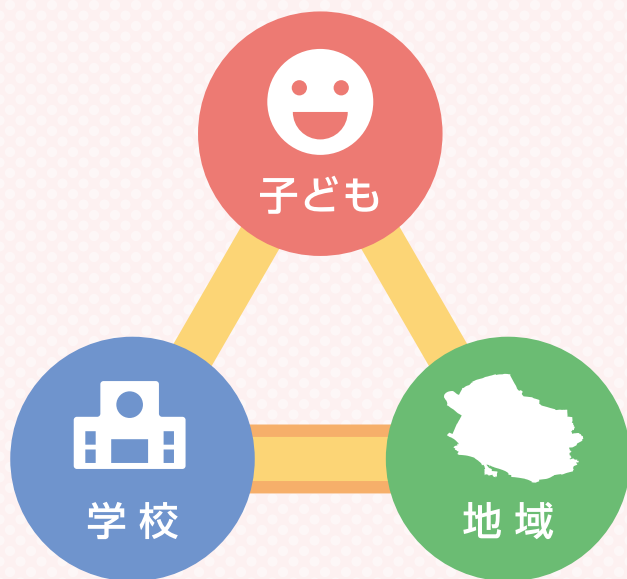
「学校支援本部ってなんだろうBOOK」を 学校や地域でご活用ください

小中学校の先生方、保護者、学校支援本部のメンバーになってみようかとお考えの方などに、学校支援本部の組織や活動について知っていただく際の手引きとして、また事業の企画や連携する際の参考としてご活用ください。

学校支援本部って
なんだろう？



学校支援本部は
子どもたちの学びを支える
「**応援団**」です。



学校支援本部は、学校・保護者・地域をつなぎ、
子どもたちの学びを支え、
学校を核とした地域コミュニティを育んでいきます

Q.1

学校支援本部は どんな組織なのですか？



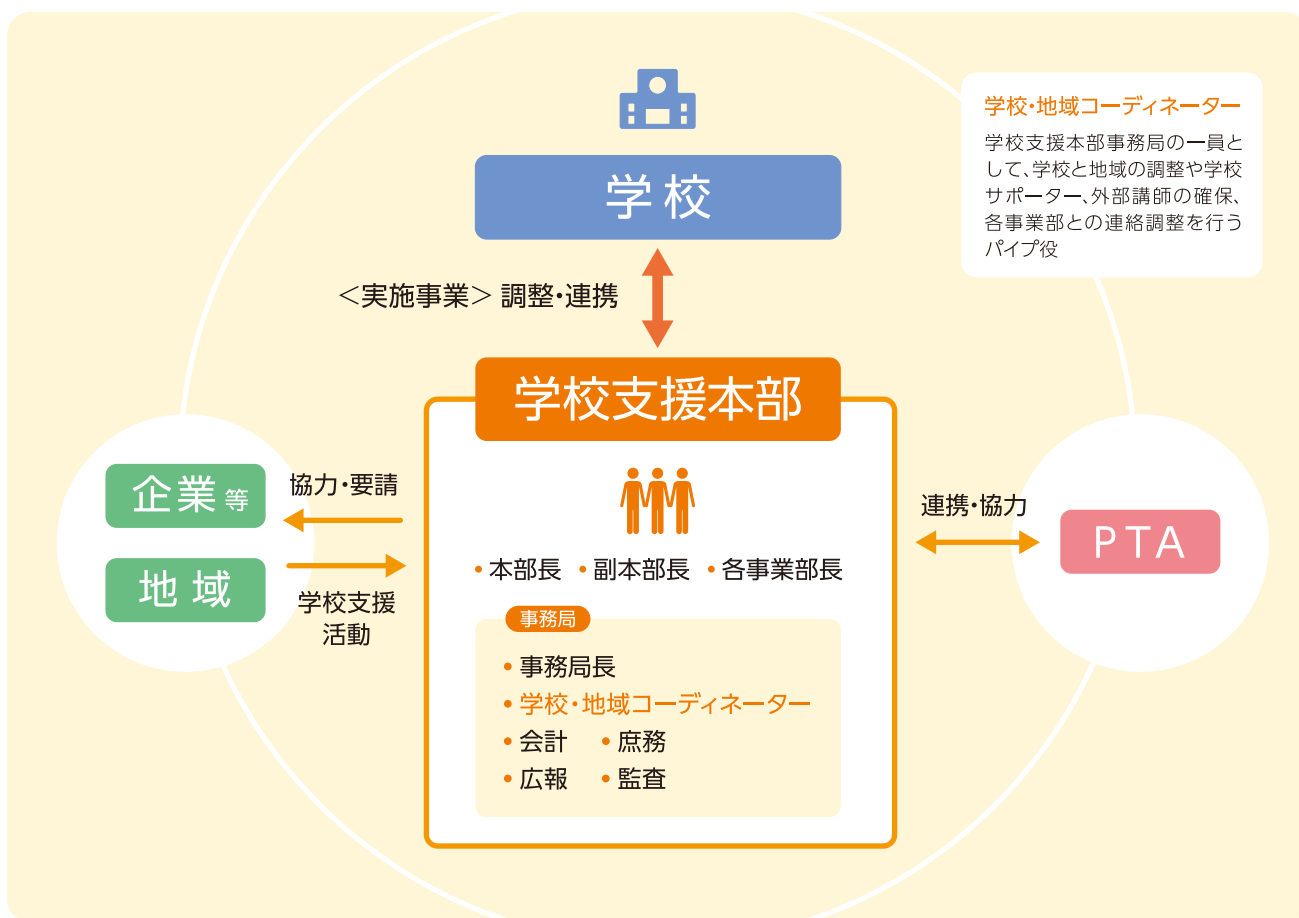
学校支援本部は、地域の志のある人たちと一緒に
なって学校の教育活動などを支援するために設置
された、ボランティアによるネットワーク組織です。

杉並区は学校教育に対する区民の関心が高い地域
で、これまで地域の方々から様々な形で協力を得な
がら学校運営や教育活動が行われるなど、地域との
連携が図られてきました。学校支援本部は、こうした

取組をさらに発展させ、より組織的に学校支援を進め
るものです。

各学校支援本部には、代表者として本部長が置かれ
るとともに事務局が設置され、事務局の一員となる
「学校・地域コーディネーター」を中心に、学校支援ボ
ランティアの協力を得ながら、様々な活動が企画・運
営されています。

＜ 学校支援本部の組織イメージ ＞





Q.2 杉並区での取組はどのように充実してきたのですか？

杉並区における地域と学校をつなぐ取組は、平成14年からスタートしています。学校支援本部設立の背景と教育委員会の取組について簡単に紹介します。

平成14年度～

全国初の試み「学校教育コーディネーター」新設

「学校教育コーディネーター」制度を新設。学校(先生)の依頼をコーディネートすることを役割として、業務を区民の方に委ね、小・中学校に4名を配置しました。平成18年度には15名が38の小中学校を対象に配置され、総合的な学習の時間などにゲストティーチャーを登用するなど、持ち前の企画調整力などを発揮した取組を展開しました。

平成18年度～

「学校支援本部」発足

「個」の支援である「学校教育コーディネーター」から「組織」の支援である「学校支援本部」への移行は、和田中学校で先行していた組織的な取組を踏まえて、はじまりました。「学校教育コーディネーター」は、「地域コーディネーター」へと名称を変え学校支援本部内で組織的に活躍する役割へと進化しました。

平成22年度～

「学校支援本部」全校配置

全校設置された「学校支援本部」は、その役割を家庭・地域・学校の連携による教育活動を推進・充実する任意団体と位置付け、各校校内に本部室を備えました。平成24年度からは、教育委員会が実施する研修会を受講した「学校・地域コーディネーター」が各学校支援本部に3名程度配置され、現在、杉並区全体では182名が活動するに至りました。

●全国的な取組背景

1996
▼平成8年7月
中央教育審議会答申「学校・家庭・地域社会全体で『生きる力』育成」

2002
▼平成14年4月
新学習指導要領実施「総合的な学習の時間の新設」

▼平成14年4月
学校週5日制の完全実施

2006
▼平成18年12月
教育基本法改正「学校・家庭・地域の連携協力に関する条文を新設」

2008
▼平成20年4月
全国に「学校支援地域本部」を広げる補助金事業開始

2013
▼平成25年6月
第2期教育振興基本計画策定「平成29年度には全学校区に学校と地域の連携・協働体制を構築することを目標に掲げる」

Q.3

どんな活動をするのですか？



学校支援活動の内容は、学校と学校支援本部の間で取り交わされる協定書に基づき、大きく「学校教育活動」(＝学校管理下の活動)と「[学校教育活動]外の諸活動」にわけられます。学校の求めに応じて行われますが、学校支援本部が自ら企画・提案し、校長の承認のもとで行うこともできます。

活動を行う学校支援本部の方々は、ボランティアとして各自ができることを、できる時に、できる範囲で、意欲と関心を持ちながら自発的に活動しています。

多様な知識・経験を持つ地域の大人たちが学校支援活動を通して子どもたちとふれ合うことで、きめ細やかでより質の高い教育活動が可能になります。

＜ 学校支援本部の活動イメージ ＞

＜ 学校教育活動 ＞

校長先生や先生の求めに応じた地域人材による学校教育活動内の支援

＜ [学校教育活動]外の諸活動 ＞

地域特性を活かした、地域の企画による提案と実践





学校支援本部がサポート！

活動の事例を 紹介します

主な活動としては、「総合的な学習の時間」等、「教育課程内」の支援があります。地域の方や社会の第一線で活躍する方をゲストに招きます。専門的な内容を授業に加えたり、多様な体験の機会をつくることで、子どもたちの学ぶ意欲を引き出します。

また、部活動支援や読み聞かせ、校庭の芝生や花壇の整備など、「教育課程外」の活動も、地域の特色を生かしながら活発に行われています。

さらに、土曜日学校、放課後子ども教室など、保護者や地域が主体となった「学校教育活動外」の活動も行われています。

学校支援本部は、学校と連携を密に取りながら、子どもたちの多様な学びをサポートしています。（32ページのグラフをご参照ください）

こうした取組の要となって、学校と、地域や社会の方々をつなぐ役割を果たしているのが、「学校・地域コーディネーター」です。

「教育課程内」の支援をする場合は、学校と授業のねらいや内容について話し合い、学校のニーズに合ったゲストを探します。当日は授業に立ち会い、担任のサポートを行います。読み聞かせや花壇の整備のように、たくさんの方々の協力が必要な活動では、地域団体に声をかけるなどして、ボランティアを確保しています。

これまでの活動をふりかえると、子どもたちの学びを支える取組の成果は学校内に留まらず、大人同士のつながりも育んでいます。

▶ 学校教育活動

■ 教育課程内

国語

社会

算数 / 数学

理科 / 生活

音楽

図画工作 / 美術

家庭 / 技術・家庭

体育 / 保健体育

英語

総合

特別活動（行事）

■ 教育課程外

朝活動

読み聞かせ

安全・環境整備

部活動

▶ 「学校教育活動」外の諸活動

放課後活動

PTA連携・サポート

その他

事例紹介へ！ >>>